

年間学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。 ・基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。 ・様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴くようにする。
--------	--

学期	学習計画(単元名)	学習内容
前期	音の重なりとひびき	<ul style="list-style-type: none"> ○長調や短調の響きの変化を感じ取って表現したり聴いたりする。 ○声や楽器の響き合う美しさや楽しさを味わって表現する。
	演奏のみりよく 物語と音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な演奏による音楽表現の違いを感じ取り、そのよさを味わって聴く。 ○歌詞の内容を味わい、曲想を生かした表現を工夫しながら、表情豊かに歌う。 ○楽曲全体の曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴く。 ○旋律の特徴と、役割や組み合わせが表している様子を思い浮かべて聴く。
後期	豊かな表現を求めて	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽の仕組みを生かし曲想をとらえて、楽曲に合った表現を工夫する。 ○パートの役割や、ほかのパートとの関わりを意識し、聴き合いながら演奏する。 ○友達と一緒に表現する喜びを味わい、アンサンブルを楽しむ。
	伝えよう日本の音楽 音楽に思いをこめて	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の旋律の特徴を生かし、歌詞の表す情景を思い浮かべながら表現する。 ○琴や尺八の音色や奏法の特徴を感じ取りながら、楽曲の構造に気を付けて聴く。 ○作曲者の思いを想像しながら、楽曲を味わって聴く。 ○歌詞の内容を味わい、言葉を大切にしながら楽曲に込められた思いを感じ取って歌う。 ○楽曲の盛り上がりを感じ取って、聴いたり歌ったりする。
総時数		50時間

音楽科の評価

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
創造的に音楽にかかわり、音や音楽に対する関心をもち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組み行うとする。	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。	音楽表現をするための基礎的な技能を高め、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさを理解し、味わって聴いている。

○学習に取り組む姿勢、学習の準備物の様子、学期ごとに行う歌・リコーダーのテスト、適宜行う鑑賞や活動の記録など具体的な事柄で評価します。学習の結果だけでなく、その過程も評価していきます。

保護者の方へ

○聴く、表現する(歌ったり、演奏したり、創作したり)活動を大切にして学習に取り入れます。
○いろいろな場面で、音楽に親しめるような環境作りをお願いします。